

## ステークホルダーとのつながり

オルガノグループは持続的成長をしていく上で関わりの深い5つのステークホルダーに対し、企業として社会的責任を果たしています。

| ステークホルダー | オルガノの役割・使命                    | エンゲージメント                            |
|----------|-------------------------------|-------------------------------------|
| 株主       | 適正な情報開示、安定的かつ適正な配当、企業価値の持続的向上 | IR活動（決算説明会、IRミーティング）、株主総会、ホームページ    |
| 顧客       | 高品質で社会に役立つ製品およびサービスを適正価格で提供   | 営業活動を通じたコミュニケーション                   |
| 取引先      | 公平・公正な取引                      | 購買活動を通じたコミュニケーション                   |
| 社員       | 安定的雇用、人材育成、適正な給与、情報と課題の共有     | 社員集会、労使協議会、各種研修、イントラネット、グループ報、健康相談室 |
| 地域・社会・行政 | 適正な納税、安定的かつ公正な雇用、地域社会との対話     | ホームページ、環境報告書                        |

## 株主・投資家とのつながり

### IR活動を通じた双方向コミュニケーション

事業戦略や事業状況の理解促進および経営の透明性を高め市場からの信頼を得るため、適切で公正な開示を目指しています。株主、証券アナリスト等の市場参加者と双方向コミュニケーションを行うことにより、両者の認識ギャップを埋め、市場認識・評価を経営へフィードバックしています。

- 機関投資家、証券アナリスト向け決算説明会（本決算、半期決算発表後に開催）
- IR担当者と機関投資家、証券アナリストとの個別面談（年間約50件）
- 定時株主総会 株主総会終了後に株主説明会を開催

### 株主還元（配当方針）

当社は、財務健全性の維持・向上及び将来の投資に備えた自己資本の充実を図りながら、安定的かつ継続的な配当の実施を基本方針としたうえで、収益の状況を勘案した利益配分に努めています。なお、当社は定款に剰余金の配当等を取締役会決議によって行うことができる旨の規定を設けており、配当の実施については、中間配当及び期末配当の年2回としたうえで、期末配当は原則的に定時株主総会の決議事項としています。

2016年度の期末配当金は1株当たり6円（普通配当5円、創立70周年記念配当1円）とし、中間配当金を含めた年間配当金は1株当たり11円としています。

# お客様とのつながり

## 信頼される品質への取り組み

お客様に安心してご利用いただける製品・サービスを継続的に提供するため、「営業」、「設計」、「購買」、「製造」、「品質保証」等の各部門が一体となって品質維持・向上に取り組んでいます。

不具合を未然に防ぐために、各工程での作業手順を定め、内部監査により実施状況を確認しています。

## 品質マネジメントシステム

国際規格の認証を通じて製品やサービスの品質向上に努めています。

| 事業部門                | 認証種類                       | 登録年月               |
|---------------------|----------------------------|--------------------|
| プラント部門              | ISO9001                    | 1996年1月            |
| つくば工場               | ISO9001<br>ISO14001        | 1996年3月<br>1998年5月 |
| 機能商品事業部             | ISO9001                    | 1997年4月            |
| 開発センター              | ISO/IEC17025 <sup>※1</sup> | 2012年12月           |
| オルガノフードテック株式会社 本社工場 | FSSC22000 <sup>※2</sup>    | 2015年3月            |

※1 試験所、校正機関が試験・校正実施能力を実証するための要求事項をまとめた国際標準規格

※2 食品関連製造事業者のための食品安全マネジメントシステム規格の一つ

# お客様ニーズに合わせた製品・サービス

水処理には様々な浄化設備、薬品、機能性材料があり、その選定や運用には専門的な知識が要求されます。当社のホームページの「プロダクトサイト」ではお客様の用途、キーワードから簡単に検索することができます。また、純水・超純水サイトでは、水の純度と用途を専門家の立場から平易な文章で解説しています。



プロダクトサイト  
<http://product.organo.co.jp/>



純水・超純水サイト  
<http://purewater.organo.co.jp/>

## ◆ 社外からの主な評価・表彰 (2016年度)

| 受賞製品名   | 表彰  | 主催  |
|---|---|---|
| 高速加圧浮上装置<br>「H-DAFシリーズ」<br>従来製品の約4倍の高流速処理を可能とした濁質除去装置       | 第43回優秀環境装置表彰<br>経済産業大臣賞<br>(環境保全技術の研究・開発及び優秀な環境装置の普及の促進を図ることを目的として創設された表彰制度で独創性、性能、経済性、将来性等の観点から審査を行い表彰)  | 一般社団法人 日本産業機械工業会<br>後援：経済産業省                              |
| 省エネソリューション<br>みずねつ<br>「水熱利用システム」<br>地下水熱と冷水冷却排熱を利用する省エネシステム | 平成28年度省エネ大賞 省エネルギーセンター会長賞<br>【製品・ビジネスモデル部門】<br>(事業者や事業場等において実施した他者の模範となる優れた省エネ取り組みや、省エネルギー性に優れた製品並びにビジネスモデルを表彰するもの)<br><br>平成28年度かながわ地球環境賞<br>【かながわスマートエネルギー計画部門】<br>(かながわスマートエネルギー計画の推進に寄与する再生可能エネルギーの導入等に関し、特に優れた取組を行ったもの又は今後寄与することが確実に期待できる取組を行ったもの) | 一般財団法人 省エネルギーセンター、<br>後援：経済産業省<br><br>神奈川県、かながわ地球環境保全推進会議 |

## 取引先・購入先とのかかわり

### 公正な評価およびパートナーシップの構築

当社の事業活動は多くの事業者の皆様を支えています。購買取引の際は、購買基本方針に基づいて取引条件を明らかにし、価格、品質、納期、その他の諸条件等を公平・合理的に評価し、購入先を決定します。また、購入先とは信頼関係を構築・維持することに努め、相互協力により共存共栄の関係を図るとともに法令遵守、環境、人権などの社会的責任への取り組みに関心を持ち、お互いに社会的責任を果たせるよう努めます。

なお、購買基本方針は当社ホームページで公開しています。

<http://www.organo.co.jp/company/buying.html>

## 社会とのつながり

当社グループでは、水処理事業を通じて環境保全に貢献するとともに、水環境技術や教育に関わる支援活動に積極的に取り組んでいます。

### 水環境保全技術の発展に関わる支援活動

#### 中国の若手研究者を支援する「オルガノ賞」

中国では近年、産業の発展に伴って環境に対する意識が高まるとともに、政府による水環境保全に関する政策が推進されています。

当社は2007年度より、中国科学院生態環境研究センター及び蘇州工業園区とともに、中国において水質・水環境保全に関する分野で優秀な研究成果を挙げている大学院生を表彰、支援する奨学金制度（通称：オルガノ賞）を行っています。

2016年度も中国に在住している大学院生を対象に研究テーマを募集し、7月に蘇州において優秀研究者の選考と表彰を行いました。



2016年度「オルガノ賞」表彰式(中国・蘇州)

#### 水環境分野の若手研究者の研究を支援

～(公社)日本水環境学会 博士研究奨励賞～

本賞は、博士後期課程の大学院生などの若手研究者による水環境分野の優れた研究成果を広く紹介し、更なる研究発展を支援する目的で設立されたものです。当社は本賞の主旨に賛同し、出捐という形で協力しています。

第10回を迎えた2016年度は、9月に秋田県立大学で開催された同学会シンポジウムにおいて研究発表、選考ならびに表彰式が行われ、3名が受賞されました。



2016年度「日本水環境学会」表彰式(秋田県立大学)

## 学校教育への支援活動

### 企業訪問学習への協力

当社では、各種学校教育をサポートしている特定非営利活動法人学校サポートセンターと連携し、毎年全国の中学校や高等学校の企業訪問学習の受け入れを行っています。

2016年度は高校生の訪問があり、実験や質疑応答などを交えながら当社の水処理や環境関連の事業について学習していただきました。

この訪問学習を通じて将来環境関連分野に進んでくださる若い人材が増えるきっかけとなるよう、今後も学校教育への支援を積極的に続けてまいります。



学習風景

### 地域イベント

つくば工場では、2016年8月に納涼祭を開催し、近隣地区の方々や取引先を含め約200名の参加がありました。地域サークルや社員によるステージパフォーマンス、花火打ち上げなど、イベントを通じて地域とのふれあいを深める活動を行っています。



つくば工場納涼祭

### 中国、インド、台湾、ASEANとのつながり

中国、インド、台湾、マレーシア、インドネシア、シンガポール、タイ、ベトナムの現地法人会社による事業を通じて水資源有効利用、水環境保全、水処理技術移転を推進するとともにサプライチェーンの拡大や現地雇用によって現地製造業の活性化に寄与しています。また、国内外の技術者が出席する社内の生産技術発表会で最新の技術情報を共有し、ともに発展していけるような取り組みを推進しています。



タイ展示会での技術説明

## 社員とのつながり

### 安全に働ける職場づくり

社員の安全と健康を確保するとともに快適な職場環境の形成促進のため、安全衛生管理規程に基づいて安全衛生管理体制と役割を定め、職場環境の維持管理、労働災害の防止・緊急時の措置および関連する教育訓練を実施しています。

### メンタルヘルスケア

2016年度に全社員を対象にメンタルヘルス研修（eラーニング）を実施し、ストレスチェックを毎年実施しています。自分自身や同僚・部下の不調に気付いたときには社内の相談窓口で専門医や看護師のカウンセリングを受けることができます。

## 人材育成の推進

社員のスキルアップやキャリアアップのために、階層別研修や機能別研修を実施しています。また、社員の自己啓発を援助する制度として、資格取得支援制度やオルガノ大学(通信教育受講金補助制度)を導入しています。

### ◆ 主な研修制度

| 研修種類                                   | 概要   |
|--|--|
| 入社時集合研修                                | 約1ヶ月間の集合研修で社会人としての一般知識やオルガノの技術を学び、その後は建設現場や工場の研修で実務に必要な知識を習得します。 |
| フォローアップ研修                              | 入社1年目の11月に実施。各部署に配属された同期との相互啓発や仕事に対する疑問を共有し、オルガノへの理解を深めます。       |
| Engineering Seminar Basic Course (ESB) | オルガノの基礎的技術について、技術分野ごとに受講。業務上直接関わらない技術についても、将来のキャリアに備え広範に習得します。   |
| 入社3年研修                                 | 仕事に関する目標や悩みを共有して会社から自分に与えられた役割を再認識し、考え方や行動の変革を促します。              |

### ◆ 資格取得支援制度

約300種類の公的資格を対象に取得費用の一部を補助します。人気の資格は、技術士、技術士補、公害防止管理者、衛生管理者、電気主任技術者、TOEIC、日商簿記検定などであり、技術系、語学系、情報処理系など多岐にわたります。

### ◆ オルガノ大学(通信教育受講金補助制度)

通信教育講座の「オルガノ大学」は業務に必要な技術系・営業系講座、階層別に求められるマネジメントスキルなど9分野144講座を取り揃え、一定の条件をクリアして修了すると受講料の一部を表彰金として受け取ることができます。

## 主なコミュニケーションツール一覧

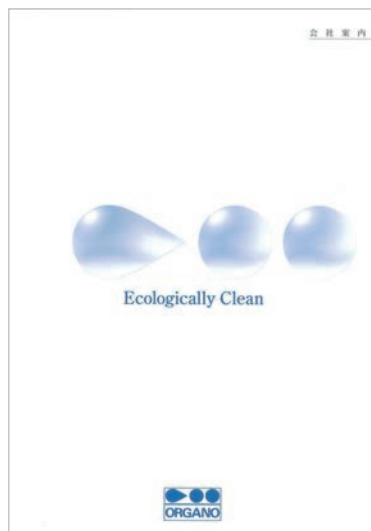
### ◆ ホームページ

ステークホルダーの皆様へ最新情報をお知らせしています。主な内容として企業情報、投資家向け情報(IR情報)、新着情報(ニュースリリース)、製品情報、採用情報などを掲載しています。



### ◆ 会社案内

事業内容、製品、サービス、国内・海外ネットワークを簡潔にまとめた冊子(日本語、英語)です。



### ◆ 株主向け報告書

主に個人投資家向けに半期ごとに発行している冊子で、事業内容、経営方針、業績をわかりやすく紹介するとともに株式の手続きに関する案内を掲載しています。

PDFファイルをホームページで公開しています。

<https://www.organo.co.jp/ir/report/report.html>

